

## 国際法 I・II

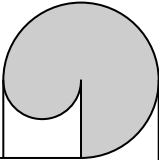
国際法は、国と国とが話をする際の共通の言語

国際法 (International Law) は、最も狭い意味では、国家と国家の関係を規律する法です。

古来多様な諸文明たちは共存と対立を繰り返してきましたが、国際連合は、2001 年を「文明対話の年 “United Nations Year of Dialogue among Civilizations” としました。

異なる国家間、文明間での対話のためには、共通の土台が必要です。1997 年、当時のガリ国連事務総長は、「国際法は、国と国とが話しをする際の共通の言語」といいました。

この科目を学ぶことによって、世界の共通言語としての国際法の基本的な考え方を身につけることができます。



下記は、国際連合による国際法の説明です。受験勉強の一環だと考えて読んでください。

*“International law defines the legal responsibilities of States in their conduct with each other, and their treatment of individuals within State boundaries. Its domain encompasses a wide range of issues of international concern, such as human rights, disarmament, international crime, refugees, migration, problems of nationality, the treatment of prisoners, the use of force, and the conduct of war, among others. It also regulates the global commons, such as the environment and sustainable development, international waters, outer space, global communications and world trade”.*

出典 (<http://www.un.org/en/sections/what-we-do/uphold-international-law/>)